

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

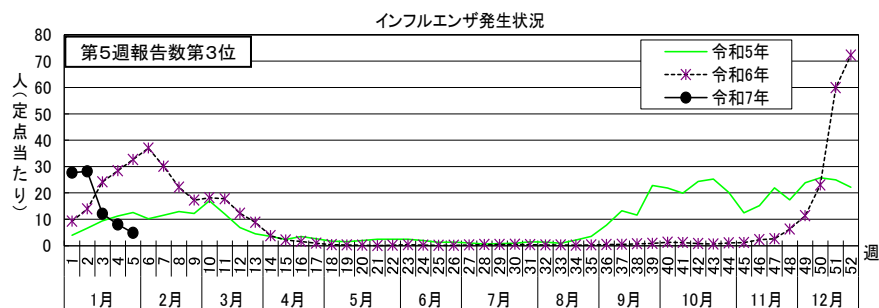
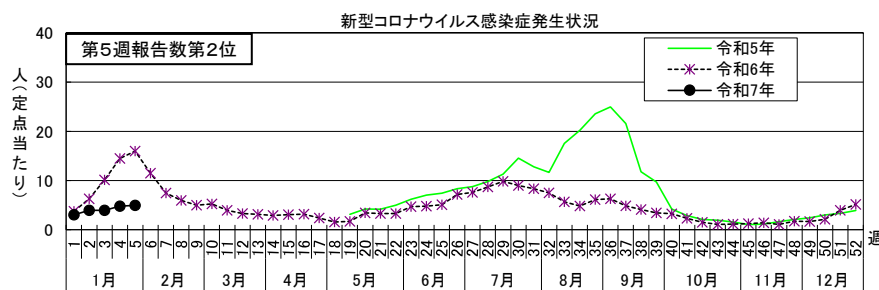
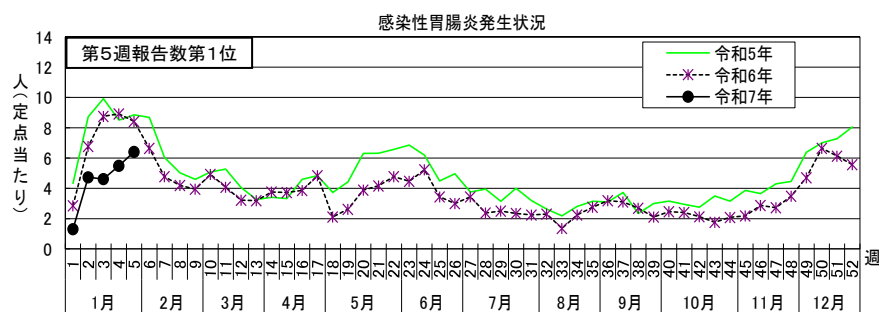
令和7年1月27日（月）～令和7年2月2日（日）〔令和7年第5週〕の感染症発生状況

第5週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1）感染性胃腸炎 2）新型コロナウイルス感染症 3）インフルエンザでした。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は6.41人と前週（5.49人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。

新型コロナウイルス感染症の定点当たり患者報告数は4.98人と前週（4.80人）から横ばいでした。

インフルエンザの定点当たり患者報告数は4.84人と前週（8.07人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。



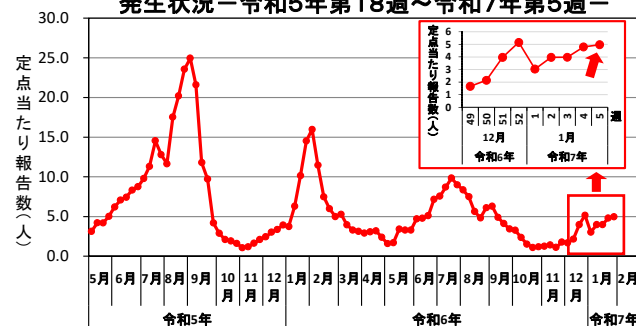
新型コロナウイルス感染症～小児の割合が増加しています！～

川崎市における令和7年第5週（1月27日～2月2日）の新型コロナウイルス感染症の患者報告数は、定点当たり4.98人と4週連続で増加しました。

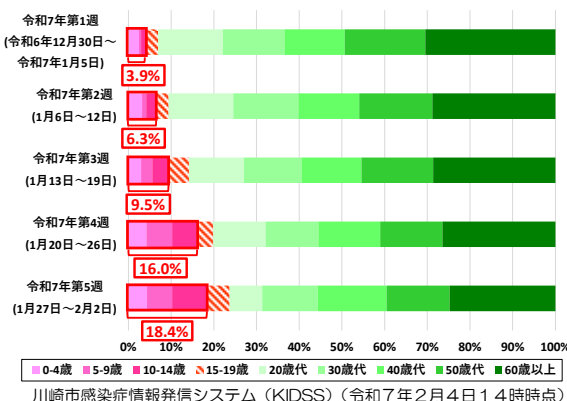
また、本市が実施しているリアルタイムサーベイランスにおいては、1月上旬以降小児の割合が徐々に増加しており、第5週は15歳未満の割合が18.4%となりました。

新型コロナウイルス感染症の流行状況に合わせ、飛沫及び接触感染への基本的な予防対策として、手洗いや手指消毒、こまめな換気、咳エチケット等を今一度見直しましょう。

川崎市における新型コロナウイルス感染症の発生状況－令和5年第18週～令和7年第5週－



川崎市における新型コロナウイルス感染症のリアルタイムサーベイランス週別年齢階級別発生状況－令和7年第1週～第5週－



新型コロナウイルス感染症の予防対策

